

今月の

逸品

NO.37 2018.04~05

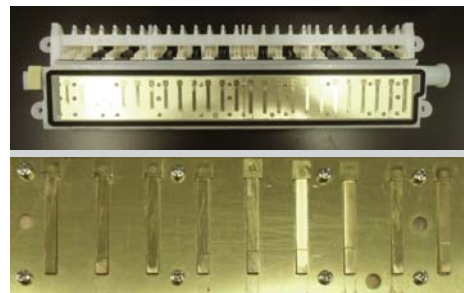


透明鍵盤メロディオン

株式会社 鈴木楽器製作所 OHP25 MELODION

1974 (昭和 49) 年 W335mm×D110mm×H95mm

鍵盤が透明な指導用鍵盤ハーモニカ。透明なため、OHP シートの上に載せて鍵盤を押さえると、スクリーンを通して教室全体に反映され、理解できるよう配慮されている。楽器の構造は、吹き口に空気を流して、同時に鍵盤を押すことで、空気の流れ（通り道）ができ、その呼気によって楽器内部に設置されているリード（発音体である薄い金属片）が振動して音が鳴る。鍵盤ハーモニカに類似した楽器メロディカをドイツのホーナー社が開発し、1961 (昭和 36) 年にそれに似たメロディオンが鈴木楽器製作所によって製造された。1967 (昭和 42) 年、文部省から鍵盤ハーモニカが教具として認められ、1968 (昭和 43) 年、文部省の小学校学習指導要領改訂により、鍵盤楽器は視聴一体の楽器であることから、音楽の基礎的能力の育成と、指導においても効果的な楽器として、全国の小学校に普及された。メロディオンが、「鍵盤ハーモニカ」という名称で文部省の教材基準に採用された。メロディオンの名称は、鈴木楽器製作所の商標名で、メロディーとアコーディオンを合成して付けられた。この透明鍵盤メロディオンは、京都教育大学附属桃山小学校より寄贈された。



(上) 内部分解 (下) リード拡大
 〈鍵盤ハーモニカ〉



教育資料館 常設展示
 〈1992 年製 メロディオン M-32C〉